

水稻生育情報 (No.3)

令和7年7月18日
県南農林事務所経営・普及部門
(土浦地域農業改良普及センター)

【気象と生育の概況】

本年5月第1半旬から6月第4半旬までの気象は、日平均気温が平年より **0.4℃高く**、日照時間が平年比 **141%**で推移しました。特に、6月第4半旬は、日平均気温が平年より **4.8℃高く**、日照時間が平年比 **215%**で推移しました。

6月20日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況は、草丈は**高く**、茎数は**平年並～多く**、葉色は**平年並**です。

【今後の栽培管理のポイント】

表1. 水稻定点調査 (6月20日現在：コシヒカリ)

調査地点	田植日 (月日)	植付株数 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉色板)(SPAD値)	
土浦市	5月5日	60	58.9	590	4.6	38.6
飯田	(5月5日)	60	(47.7)	(515)	(4.5)	(36.6)
石岡市	5月15日	50	52.7	503	4.6	38.2
柿岡	(5月15日)	50	(48.1)	(509)	(4.6)	(36.3)

※ () 内は平成27年～令和6年の10か年平均値

●中干しの終了の目安について (コシヒカリ)

5月中旬以降に田植えした圃場も中干し開始適期に入っています。茎数を確認し中干しを開始して下さい。中干し終了の目安は葉色が**4(若竹色)**以下に落ちたときです。中干し終了後は間断かん水を行って下さい。4月下旬～5月上旬に移植した圃場では、幼穂ができ始める時期となる6月末までに中干しを終了して下さい。

表2. 中干しの時期と方法 (コシヒカリ)

開始時期	茎数330本/㎡程度となったとき(坪60株・株間18cmで18本/株、坪50株・株間22cmで22本/株)、田植後35日頃が目安
実施期間	葉色が濃い場合は(葉色板で4.5以上)15～20日程度 葉色が薄い場合は(葉色板で4.5以下)10日程度
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期(幼穂長1～2mm、出穂25日前頃)までには終了する
中干し程度	田面に亀裂ができ、軽く足跡がつく程度 水持ちがよい水田では強めに、水はけが良い水田では弱めに行う

【中干し後出穂前までの水管理について】

- 中干し後のイネの根は畑作物のように酸素を必要とします。常時湛水で管理では根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のため間断かんがいをを行います。
- 2～3日湛水し、自然落水後落水状態を1～2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。

【いもち病の防除について】

気温14～30℃で多湿条件のときに発生しやすく、葉いもちは例年6月下旬から発生が認められます。昨年度多発した圃場では特に発生に注意してください。葉いもちの防除適期は初発時です。置苗は発生源となるので、速やかに持ち出して処分してください。

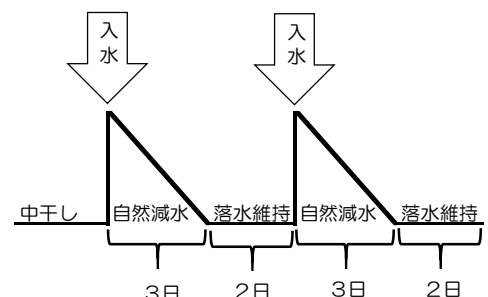


図1. 間断かんがいの例

令和7年の気象の推移

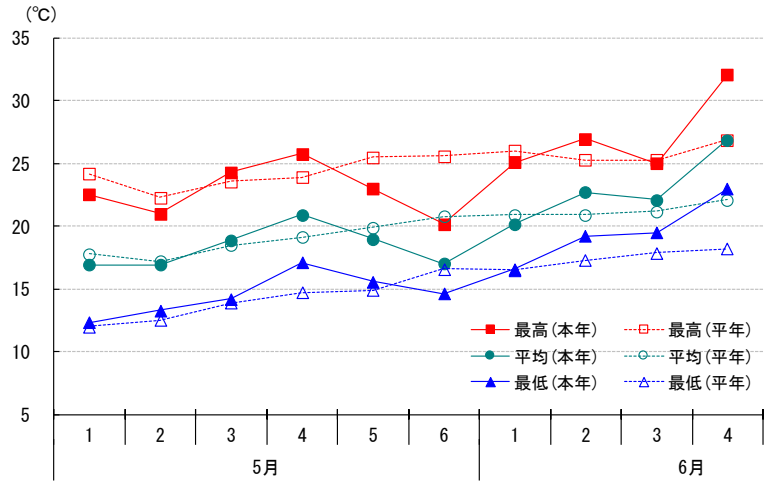


図1 半旬別気温の推移（土浦市）
注）平年値：平成27年～令和6年の10年間の平均値
アメダス土浦観測所データより作成

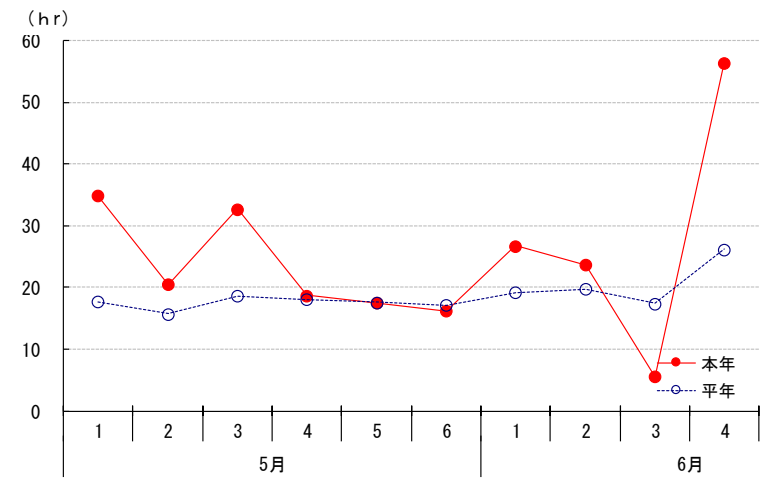


図2 半旬別日照時間の推移（土浦市）
注）平年値：平成27年～令和6年の10年間の平均値
アメダス土浦観測所データより作成

令和7年の生育経過グラフ

